



白山神社にて（2023年）

# 大 祭

お お くて



2023年大湫町例大祭（神明神社にて）

祭の10月、町から離れた人が戻り集う  
町内が、活気を取り戻す  
だが、祭を維持することは  
高齢化・少子化の町では、工夫が求められる

## 主な目次

大湫町祭り・しめ縄づくり	1~2
釜小、北中コムスク	3
敬老の日・体操教室（出前講座）	4
リニア工事と地盤沈下に思う	5
文化祭作品募集	6
瑞浪市総合防災訓練	7~8
丸森だより	14

# お祭りの月、10月

## 第1日曜大湫・第2日曜神田・第3日曜足又

10月は祭りの月。その始まりが、神明・白山神社の祭礼。例大祭です。翌週には神田白山権現神社、さらに足又八幡神社祭礼へと続きます。

新型コロナウイルス感染症が猛威を奮ったこともあり、祭礼も自粛されてきましたが、やっと戻り始めています。

祭礼のスタートを切る神明・白山神社祭礼は、10月6日。午前9時30分頃から祭神の分霊を神輿に迎える神事が執りおこなわれます。

神輿や山車は前日から準備に入り、神明神社前で出番を待ちます。神輿は神明神社境内の上段に置かれ、祭神を迎え

ます。祭神と共に神輿と山車は白山神社に移動し祭神を迎え、厄難を追い払い、健康や安全を願うため宿内を巡行するわけです。宿内や氏子の厄払いをして回るのです。

巡行する山車の見所は、三叉路(旧JA事務所前)での方向転換です。

山車と神輿は宿の西の外れまで巡行した後、公民館横の駐車場まで戻り、転回します。

祭神を白山・神明の各神社でお戻しし、正午頃に祭は終了です。



神明神社神事 (23年)



神明神社神事 (23年)

「高齢化により祭の存続が危うくなってきました」

「神輿と山車の巡行に、それぞれ10名ずつ、お囃子や神楽、巡行道中の曲目の演奏を担う若衆についても大勢の人が必要となります。今後、祭の担い手について町民の皆さまとご相談しながら、伝統ある祭が続けていけるよう取り組んでいきたいと思います」

と、神社総代の木村伸哉さん。

過疎化と高齢化の地域が抱える悩みは大湫の神社総代にも重くのしかかる。

### 日程(予定)

- 9:30 神事開始
- 10:00 白山神社に移動
- 10:40 神輿・山車巡行  
三叉路にて方向転回  
(ここが見所)  
宿内を巡回
- 11:30 駐車場にて転回  
↓  
白山神社  
↓  
神明神社
- 12:00 終了
- 12:30 14白の餅まき  
旧大湫小学校グラウンド  
(天候によっては駐車場)  
注:天候等により時刻を変更することもあります。ご承知おきください。



# 「大湫神明例大祭」準備

## 力を合わせて大しめ縄づくり

9月21日（土）、大湫コミュニティセンター講堂で大しめ縄づくりがおこな



なわれた。およそ30名の参加で、作られる大しめ縄は、長さ16m。稲わら20束が用意された。しめ縄の太いところは直径が10cm。



その部分が12m。細いところが4m。

三浦順三さんを指揮官にして分担して作業がおこなわれる。16m



藁シデ飾りを作る

のしめ縄が3本と藁（わら）シデ飾りを分かれて作るので、4グループで作業がおこなわれる。

「従来は責任者の頭の中に設計図があった。これでは次世代に作業を継承するには不十分。記憶を頼るのではなく記録を、と思う。映像では色々残されているが、数字で残すことに心がけている」と三浦さん。

藁シデ飾りを担当する年配の参加者は、手際よく縄をなっていく。見事な手さばき。「ここの参加者の中でも縄をなえるのは6人かな」「子どもの時から親のなう様子を見て覚えたもんだ」「手取り足取りのような指導はなかったよ」「わら草履をつくったよ」と子どもの頃を思い起こすように話されたのは、渡辺栄二さん、長谷川達二さん。

藁の茎以外の部分を取り除く「藁すぐり」に精を出していた参加2回目の女性は、「手が荒れるのが気になるんですよ」（秋山仁恵さん）。「白魚のような手だからね」と茶々が入って笑いが起きた。初参加の奥村義二さんは「明日の筋肉痛が心配です」

女性3名、子ども達も参加して賑やかな雰囲気です。16メートルの大しめ縄（大注連）ができあがった。

文責 長谷川 明

## 釜戸小学校コミュニティ・スクール

去る9月12日(木)・13日(金)両日、校庭の草取りボランティア活動が行われました。コムスク役員・地域住民の方々の手により、校庭の雑草を取り除くことが出来、児童たちも安心して走り回ることが出来ます



釜戸小学校運営協議会委員 松浦 大哲

## 瑞浪北中学校コミュニティ・スクール

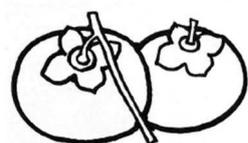
瑞浪北中学校では、「地域とつながる生徒の育成」を目指しコミュニティ・スクール(CS)の活動を進めています。CSでは「地域の力を学校づくりに、学校の力をまちづくりに」を基本とし、地域住民の学校活動への支援や地域活動への生徒のボランティア活動などが行われています。

大湫町民の皆様へは、中学校より家庭科授業のお手伝いのお願いとして依頼の回覧をさせて頂きました。今回の依頼は10月・11月の授業の中で

- ① 1年生調理実習「魚と肉」「肉と野菜」の調理。安全な包丁の使い方、おいしい味付けなど、保護者や地域の皆さんからの経験からの助言のお願い。
- ② 2年生「トートバッグの作成」ミシンやアイロンを使って、一人一人がトートバッグを作ります。ミシンの操作やアイロンの安全な使い方などについて、担任の先生の補助をお願いするものです。

※ 町民の皆様には今後も今回のように中学校から授業のお願いや依頼がありますので、よろしくご協力の程お願い申し上げます。

北中学校運営協議会委員 松浦 大哲



## 敬老の日

### 人生の先達

1947（昭和22）年に兵庫県の野間谷村でおこなわれた敬老行事」としよりの日」は、「『老人の日』を経て昭和41（1966）年に国民の祝日「敬老の日」へと発展しました（内閣府HP）。

その後、9月15日が「老人の日」、現在は9月の第3月曜が「敬老の日」。

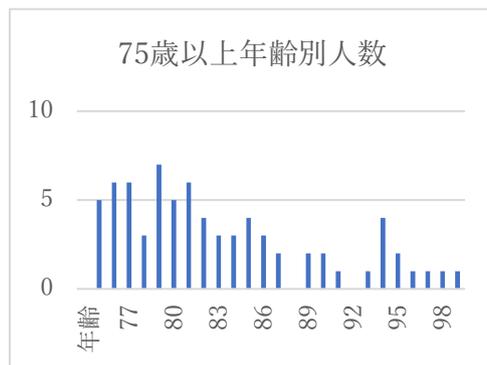
大湫町コミュニティ推進協議会は、75歳以上の方々に記念品を届けました。「人生の先輩である皆さまには」「温かく見守りいただきつつ、ご指導ご鞭撻を」（区長日記）との言葉を添えて、ご長寿あれ。

大湫町の90歳以上の先輩諸氏は

天野辰代、天野長三郎、加藤さだ子、  
奥村一子、玉置みよ子、三輪里子、大  
竹照子、三戸幸子、武田瑠璃子、  
柘植美智子、渡辺美好、

可知壽満子、林武夫

以上の皆さん（順不同・敬称略）です。



### 年に一度の 体力診断になれば

北部地域包括支援センター出前講座  
最終回のお題は「フレール予防の体操教室」でした。

35歳の若きインストラクターのお兄さんで、ついていけるのかと身も心も竦（すく）みました。

内容は、1分間の片足立ち、目を閉じての歩行、椅子に座りながらのスクワット等々。多少のきつきさも、みんながいるから励まされる。講師のお兄さんのリズムカルな掛け声も手伝って、笑いの中で付いていけるのもありがたい。

終わっての思いは、今の体力の自覚（1年前にできていたことができなくなっているなさけなさ）と同時に、この自覚こそが、明日からの健康づくりの励みになると思えました。

「歳を取る」このことは、初めての経験です。分からないことばかりです。ただ私に分かっていることは、かつての母の姿です。この歳に母は、こんなだったと思いだし、前を向かなくてはと言いかせます。そして1年後、今の体力が維持できていることを願ってお互いに楽しく歳を取り合いたいと思えました。

参加者の声。「体がスカッとした」でした。

リ・アップ“ひよも” 大竹悦子

## 全国版「ニュースになった大湫 井戸枯渇・地盤沈下」

初めのころは遠雷か花火か間違えるほどの音でした。工事先端箇所が近づくにつれドーンと振動を伴った音となりビクツとするほどでした。昨年の初夏ころだったと思います。

昨年のもうしたことが些事と思えるほど、井戸の枯渇14カ所、湧水は1日2000<sup>m</sup>ほどが排出され、地盤の沈下も各所に確認されたとのニュースが流れたのです。

この状況にJ.R担当者は、ありえない話ですが「お示しできる代替え案はない。専門家と相談したい」(中日新聞)と報道陣に説明。

### 湧水と沈下は表裏一体では？

トンネル工事の湧水と沈下は表裏の現実であり、湧水と水圧、施工方法を踏まえたくて設計施工されてしかるべきものと考えます。着工に先立つ環境影

響評価においても地下水に影響が出ることに言及しており、織り込み済みの結果と思われるのです。

土木技術界を代表するJ.Rのトンネル工事に、あつてはならない対応の悪さと言つては言い過ぎでしょうか。

### 湧水は町外に放流だが、はて？

毎秒15〜25<sup>m</sup>という数字は一日当たり2000<sup>m</sup>近い湧水が排出されて、大湫町以外の場所に放流。(1<sup>m</sup>は4人家族が1日に使用する量で、毎日2000<sup>m</sup>が使用できる水を放出する。そして、町外に放流されることも危惧を感じる)

地下にリニアのトンネルという空洞がありそこに地下水が吸い込まれていく。大変理屈に合った水の流れが存在するわけです。これが少なくとも半年以上続いていて、井戸の枯渇、沈下が少ないことは幸いと考えるべきなのかもしれません。

私たちの地区(足又)では、3年前よりリニア工事の進め方、掘削方法、発破

の騒音、湧水等工事の進捗状況の説明と確認の場を年に4回、設けてきました。

当初よりJ.R東海という企業の事業に「積極的に協力する立場でもなく、工事反対をするものでもありません」と説明し、生活に影響を及ぼす夜間の発破を控えていただくことも要望しました。

トンネル見学の要望は誠意をもって対応(坑道の中はだめでしたが)していただいたと思っています。

### 100年先は大丈夫か？

大湫町の自然、文化は、10年後は良くて100年後は果たして大丈夫だろうか。井戸が枯渇し、地盤沈下したところへの対応は当然として、形に現れない瑕疵に対して不安を感じてしまう。

この地に生活している者として、なによりも望むのは、J.R東海に情報の積極的な開示と丁寧な報告と説明なのです。

奥村準蔵

# 瑞浪市制70周年記念 第34回 大湫町文化祭 作品募集！

来る11月2・3日（土日）の2日間ですが大湫町文化祭を開催します。

今年は大規模改修できれいになった館内で行うことができます。

また、今年は市政70周年記念の年でもありまので日頃、町民の皆様が手掛けている趣味の作品等、力作を広く募集いたします。

締切は10月15日（火）までに公民館へお願いします。

## 作品例：出展物の例

- ・畑で変わった形の野菜が取れた
- ・こんな虫を見た 大湫の野生動物→写真等
- ・私のコレクション（写真や実物）

コーヒーコーナーでは、今年も懐かしいレコードをかけた  
と思います。懐かしいレコードを所有の方は是非お貸し  
下さい。

（連絡先 大湫公民館 63-2360）



# 瑞浪市総合防災訓練

「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表され、都市の一部では水、コメや防災グッズが店舗から姿を消しました。幸い何事もなく、一週間後の15日、この注意喚起が終了しました。ビックリし、そして胸をなで下ろしたわけです。だが南海トラフ地震の危険がなくなったわけではありません。

9月21日(土)、午前7時から「瑞浪市総合防災訓練」が実施されました。各地域の避難場所での訓練後、市民公園周辺で防災訓練と防災フェアがおこなわれました。

当日、奥村義二さんが防災士として大規模災害について話をされました。

その内容を載録します。今後の災害予防や備えの参考にしましょう。

## 1. 災害に備えて確認しよう

・いざという時の**安否確認手段を確認**しましょう。

災害時は通常の通信手段が使えない可能性があります。その他の手段を確認しよう。

① 電話：災害用伝言ダイヤル(171) ② インターネット災害用伝言板(web171)があります。

・**情報収集手段の確認**をしましょう。

瑞浪市は様々な手段で、災害に役立つ情報を発信しています。

① 瑞浪市ホームページ ② 絆メール ③ LINE ④ その他  
防災無線 防災ラジオ 緊急速報メール

国や県も様々なツールで情報発信しています。

① 岐阜県総合防災ポータルサイト ② ぎふ土砂災害警戒情報サイト ③ 気象庁キキクル

・**マイ・タイムライン(防災行動計画)**を作成しよう。

大雨や台風などの風水害の時に備えて、それぞれの状況に合わせた避難行動を考えておく物です。自宅付近のハザードマップを確認し避難所までルートの確認や危険箇所の把握をしておく。(危険な場合は無理に避難しない)

## 2. 災害に備えて確認をしよう

・**非常用物品の準備**をしよう。

日常的に使用する保存食、飲料水、ウエットタオル、カセットボンベ、乾電池、使い捨てカイロなどを日頃から多めにストックしておく、使った分だけ補充することを習慣にしましょう(ローリングストック法)

食料と水は7日分準備しましょう。(少なくとも3日) 飲料水と生活用水とは別に考えましょう。

水用のポリタンクも準備しておくことを推奨します。

・**建物の安全対策**をしましょう。

大規模地震の切迫性が指摘される現在、住宅倒壊を防ぐ為の

対策をすることが大切です。

費用に応じて、耐震診断 耐震補強工事を行ないましょう。  
瑞浪市では、昭和56年5月以前に建てられた木造建築は無  
料耐震診断を行なっています。

工事費用も一部助成する制度があります。

自宅が倒壊しなければ無理に避難所へ行く必要はなくなりま  
す。

・非常持ち出し物品の準備をしよう。

すぐに避難できるように非常持ち出し物品の準備・点検をし  
ておきましょう。

物品内容は人それぞれに違います。女性視点での物品や慢性  
疾患の人は常備薬のストックなど個性があるので、自分で  
必要な物を用意して避難しましょう。両手が使  
えるリュック等に非常持ち出し物品をまとめ詰  
めておくと素早い避難ができます。

重すぎないか実際に背負って確かめましょう。

※防災についてまとめた「防災ガイドブック」がありま  
す。大湫コミュニティセンターや市役所内の危機管

理課にて入手可能です。

災害は起きる前の備えが大切です。これを機会に災害に  
備えて確認してみませんか。



みずなみ防災会 奥村義二

この訓練に参加された大竹悦子さん（民生・児童委員）から  
様子を ご投稿いただきました。

大湫での訓練後、市民公園での訓練に参加しました。  
過去に参加した中で今回の訓練は能登半島・南海トラ  
フ警戒情報発令後のせいか緊迫化のあるものでした。  
それだけか、スケジュールの一つ一つは、同一体験そ  
のものでした。そして目新しいものばかりでした。中  
でも印象に残っているものは、エアータントを設置し  
ての簡易救護所、災害救助犬による情報訓練、ドロー  
ンによる倒壊家屋内検索・孤立集落への片道16 kmまで  
可能なドローンによる救援物資輸送訓練（大湫もこの  
中に入れていただけるとの安心感を得られました）1  
時間の訓練スケジュールは、あっという間に終わしま  
した。

我が家も8月には、簡易水道のカランから水が出な  
くなり、神仏頼みの一週間でした。が、災害時には、も  
っと大変なことになると想いました。

テレビや新聞で見聞きする以上の体験・経験ができ  
たことに関係の方々に感謝します。

大竹悦子

# 「マイナンバーカードを お持ちでしようか」

1か月に一度ぐらいの割合で私は調剤薬局に通う。いつ頃からははっきり記憶は無いが、処方箋を提出しようとする「マイナンバーカードをお持ちでしょうか」と尋ねられる。

そんな頃からウサギのキャラクターが店内に張り出されるようになった。この変化は、この薬局だけではなかった。薬局がマイナ保険証の使用に力を入れるようになったのには、理由があった。「支援金」だ。マイナ保険証の利用率が上昇した薬局や医療機関に「支援金」が支給される。2023年10月に比べ、利用率が上昇した場合、上昇率の割合により、「支援金」が支給される。またしても「カネで釣る」作戦だ。だから、薬局は一人一人の患者に聞くことになる。厚生労働省は、この声かけに数本の台本まで用意した。

「カネで釣る」方針は次のようだ。2024年5月〜7月をマイナ保険証利用の「集中取組月間」とし、利用者の増加量に応じカネを支給する。

「例えば2023年10月の利用率が3%未満の場合、30人以上増加すると3万円、80人以上増加すると上限の10万円が支給」(「Web 医事新報」)。この「カネ釣り作戦」ともいえる方針は、10月から別の形で実施される。

マイナンバーカードと健康保険証を紐付ける方針が打ち出された。その普及が不十分とみるや、広く国民の間に普及し、認知されている現在の健康保険証を今後発行しないという。これは「困った」と感じたのは私だけではないだろう。自分はまだマイナカードを作っていない。心穏やかでいられない。

マイナカードを作らせるあの手この手に、多額の税金が注ぎ込まれてきた。TVのCMしかり。キャッシュレス事業



者への事務費の支払いなど関連経費は膨大だ。マイナカードを作るとポイントが付与されことにまず驚きがあった。

2020年9月に開始されたこの事業の第一弾で、およそ3000億円。ポイント(カネを)ちらつかせてでもマイナカードを作らせようとした。だがさほど数は伸びず、第2弾を2022年6月から開始。1兆8134億円を計上した。

マイナカードを作れば現金が口座に振り込まれるわけではなく、クレジットカードとマイナカードと紐付けすると、ポイントとして獲得できる仕組みだ。現金で買い物をする習慣の高齢者には手が出しにくい。

姑息としか言いようがない『カネ釣り作戦』。多額の税金をマイナカード促進につぎ込んだ。

## やっとなる現行保険証

現行保険証が12月2日終了するとい  
うので不安がよぎる。すると、現在の健  
康保険証の有効期限まではそのまま使  
えることがわかった。では有効期限後  
はどうなるのかも心配になる。きちんと知  
らせるべきなのに、この情報はあまり伝  
えられていない。

「マイナ保険証をお持ちでない方に  
ついては、ご本人の申請によらず、加入  
する医療保険者から資格確認書が送付  
される予定」（厚生労働省HP）だと。最  
後の「予定」が気になるところだが。あ  
る地方自治体のHPには、

「申請なしで資格確認書が交付され  
る方」は

「・マイナンバーカードを取得してい  
ない方

「・マイナンバーカードを取得してい  
るが健康保険証の利用登録をし  
ていない方」

と記されている。

## 作るのは任意でなかったのか

思い起こせば、マイナカードを作るの  
は任意だった。つまり作っても作らなく  
てもよい。申請主義を尊重すれば当然な  
こと。だが、義務であるかのように事態  
は進んでいる。納得がいかない。

マイナカード申請が進まない状況に  
考え出されたのがマイナカードと健康  
保険証の一体化だったのだろう。

「マイナ保険証への一本化は、わが国  
の『国民皆保険』制度の下、国民にマイ  
ナンバーカードの取得を事実上強制す  
るものであり、この任意取得原則の趣旨  
に反する」（愛知県弁護士会HP）。

全く同感だ。

現行保険証は期限があっても、期限切  
れになる前に送付されてきた。だがマイ  
ナカードは、期限が来ても申請しなけれ  
ばならない。ここには「申請主義」が生  
きている。申請するか否かは、本人の考  
え方次第だが、健康保険証との一体化が

進められると、なかば強制といえる。マ  
イナカードを作らなければ、となる。  
強引さと、傲慢さに、デジタル化に疎  
い高齢者や申請に出向けない弱者を置  
き去りにする棄民思想を感じてしまう  
のは、私だけだろうか。

文責 長谷川 明

## 旅人・皆さんの善意で 6,476円

6,476円を大湫町にご寄付いただきました。

このお金は、「若竹屋」さんを利用される皆さん  
からの心遣いです。「町の発展にご寄付を」と話し、  
趣旨に賛同いただいた皆さんがレジ横に置かれた  
小さな缶に入れられた金額です。

大湫町のために使ってと寄付をしてくださった  
皆さんに、感謝、感謝です。

みなおしてください

## 家庭ごみの出し方 第2弾

9月号では不燃ごみの出し方についてお知らせいたしましたが、9月の資源ごみ収集についてお伝えします。

9月の北・西区の資源ごみの廃油ボックス  
コンテナにカセットガスボンベが入れられて  
いました。(右写真)



カセットガスボンベやスプレー缶の集積場所はコミュニティセンターに指定されています。

先月は足又の不燃ごみ集積所に同じくカセットガスボンベが置かれていました。度々このような事がおきますと区民の方、当番の方に負担が掛かります。お互いに注意しましょう。



9月の北・西区の廃油コンテナ



8月に足又に置かれていたカセットボンベ

# 家庭菜園に役立つ 10月の農作業

今年の夏はいつまでも暑い。天候に大きく影響される野菜栽培。生産農家の悲鳴がたびたびニュースになり報道される。



今年のタマネギの成績は良くないと皆さんが嘆かれましたが、木村伸哉さん圃場のタマネギはすばらしい「でき」でした。

「苗は農協のものを使って、特別なことはしていない

んです。もしかすると水やりかも。冬の晴れた日に水をしっかりやったら良いと、昔買った家庭菜園の本に書いてあったので…。でもそれが理由かどうかはわかりませんが」と。

木村さんはカボチャを立体的な栽培法、空中栽培をしておられる。「この栽培は実が地面に着いていないから実がきれいなんです。地面側が黄色になるような心配がないんです」

鉄柱と網を使って空中で実をならせるこの栽培は、狭いスペースの家庭菜園にぴったりのようだ。

「知り合いから苗をもらったグラッセという品種のカボチャ。空中栽培は、なによりも草にまぎれた実を草刈り機で傷つけることがないから」とも。こんな利点に大いに納得。

野菜苗は、「恵那農業高校まで行って買うんです。安くて良い苗」が手に入るから、ここで購入されている。

トマトも大玉の品種を毎年栽培されている。「獣害で、半分ぐらい食べられてしまう。人が食べたようにへただけ残して。誰のために作っているやら。孫たちが好きなので作るんだけど」

「元肥は牛糞堆肥を主に使い、追肥として化学肥料や液肥のハイポネックス使う」

秋冬野菜も準備は怠りなく進められ、

ハクサイやスティックブロッコリーはポット苗を自作し、その一部は定植済み。防虫ネットで覆われている。

ダイコンやニンジンもすでに芽を出している。間引き後の成長が期待できる。



ハクサイ

雑草がほとんど見られないきれいな圃場。手入れが行き届いている。

「県道沿いだから、みんな見ていく。色々品評もされるから…。気が抜けなくてね」と笑って話されことを思い出した。

今年はいつまでも暑く、雑草の伸びも早い。苦労がしのばれる。

聞き手と文（長谷川 明）



ダイコン

# せららお集まるう会 10月 2024

～大湫町コミュニティ推進協議会集まるう会～

太鼓は.....(10月5日(土)と、10月19日(土))  
 です。場所は「高砂ふれあいセンター」です。

「楽」「白蛇の泉」「大杉」の練習をします。

夜の練習は、少しの間お休みにします。

太鼓練習の後「おり紙」をしましょう。

**予告** 志多ら瑞浪公演が令和6年12月1日(日)  
 に開催されます。共演団体として、集まるう会も  
 参加する予定です。

★「志多ら」と一緒に「楽」を演奏します。★25人以内です。

★25人は、当日無料で入場できます。(席は、ホールの後の方です)

★皆さん、どうぞ参加下さい。

★子供席無料(4才～18才先着77名)

★保護者半額(先着37名、子供1人につき1名)

★リハーサルを行います。

前日リハーサル.....11月30日(土) 16:00～18:00

当日リハーサル.....12月1日(日) 9:00～12:00

★参加される方、集まるう会で募集します。棚橋まで連絡を。

4ヶ月前反売.....10月11日～ 一般4000円

★集まるう会を通じて買うと3600円で購入できます。



2024(令和6)年10月

# 丸森だより

丸森：  
旧森川訓行家住宅  
国登録有形文化財  
瑞浪市観光案内所

## □丸森の企画

- ・ススキで作ったフクロウ
- ・竹細工の町並み（三戸憲和氏作製）と和宮のミニ行列（衣装は丸森スタッフ）の展示（11月3日「文化の日」まで）

和宮と徳川家茂（14代将軍）の婚儀が江戸城内で盛大におこなわれました（1862年2月11日）。その4年後、家茂は長州征伐のため出陣し、途中大阪城で急死。和宮は20歳の若さで未亡人、静寛院宮（せいかんいんのみや）となりました。その後、脚気を患い転地療養先の箱根で、1877（明治10）年9月2日、薄幸の生涯を32歳で閉じられました。

そんな想いを脳裏に浮かべながら観に来てください。

## □外国人ツアーが始まりました

田んぼの稲穂が金色に輝き、新米を口

にする時がやって来ました。

秋の外国人ツアーも始まりました。

9月11日はリトアニア・スイス・アメリカからの14名の方々が丸森に寄られ、水筒に水の補給をされ、恵



9月11日の来訪者

那から届いた朴葉寿司のお弁当を受け取り、次の宿場恵那へと出発されました。他にも全国通訳案内外国人ツアーやロートラベル等色々な国の方が歩かれるようになりました。

## □丸森の今

例の（8月号で紹介）折り鶴一万羽。9月15日現在で、5,780羽。残り、4,220羽、・・・ちょっと疲れ気味

来場者数	町外		町内		外国関係	合計
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
8月度	195人	13人	45人	3人	1人	257人
9/15日迄	151人	0人	9人	3人	37人	200人
	R6,4月～	2,353人	オープン～	57,155人	前年同月比	62%

## 大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも”</p> <p>《10月のひよもの活動》 生活安全課交通指導員による 『高齢者交通安全教室』 出前講座</p> <p>日 時：10月2日（水）10:00～（予定） 場 所：公民館講堂</p>
	<p><b>大湫宿お休み処 10月の営業日 6日（日）・13日（日） 14日（月祝）・20日（日）・27日（日）</b></p> <p>※当日（お急ぎ）の予約は、丸森（☎0572-63-2455）へ お願いします。</p>
	<p>市民図書館 大湫分室</p> <p>8月・9月は大規模改修工事のため一時貸し出しを中止していましたが、10月より貸出を再開しますので、ご利用ください。</p>
	<p>デマンド交通</p> <p>8月利用者(大湫～日吉東部)</p> <p>17便 延 19名 (稼働率13.5%)</p> <div data-bbox="1037 891 1460 1008" style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>皆さん、たくさん利用して下さい。</p> </div>
	<p>「清流の国ぎふ」文化祭2024</p> <p>○ 生誕130年「荒川豊蔵展」</p> <p>日時：9月14日（土）～11月17日</p> <p>場所：岐阜県現代現代陶芸美術館 多治見市東町2-4-5</p> <p>上記招待券2枚と1枚で2名まで入場出来る招待券が1枚あります。 公民館までどうぞ</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール</p> <p>10月のパトロール予定者</p> <p>上旬：桐井 賢次・柘植 巧 下旬：河端 聖哉・三浦 信之</p>
	<p>10月の『クテの市』開催日</p> <p>3日（木）・6日（日）・10日（木）・13日（日）・17日（木） 20日（日）・24日（木）・27日（日）・31日（木）</p> <p>新鮮な野菜がいっぱいです どうぞご利用ください</p>

## 区長日記

リニアトンネル掘削工事が原因とみられる水源の水位低下問題で、9月6日(金)に県より環境部長はじめ4名、市よりみずなみ未来部長はじめ5名の方々が共同水源、深井戸・浅井戸候補地、神田の堰堤等を視察され、加藤コミ会長と案内しました。予定時間を超えるなど熱心に視察され、また地盤沈下の問題についても説明しました。後日、状況がよくわかり、勉強になりましたと連絡がありました。

9月8日(日)の秋季奉仕作業では、炎天下での作業お疲れ様でした。おかげさまで主要道路沿いの草木が刈られ、見通しも良くなり安心して通行できるようになりました。ありがとうございました。

9月16日(日)の敬老の日、大湫町の75歳以上の75名の方々に記念品を届けさせていただきました。人生の先輩である皆様には、まだまだ及ばない点が多々あるかと思いますが、温かく見守りいただきつつ、ご指導ご鞭撻をいただけましたら幸いです。

9月21日(土)は瑞浪市総合防災訓練を実施しました。

朝早くから訓練にご参加いただきありがとうございます。その日は大杉の大しめ縄づくりがあり、多くの方々のご協力をいただき今年も立派なしめ縄が奉納できました。こと、御礼申し上げます。

9月4日 ワーキングホリデー打合せ6日 県環境生

活部長他水源地等視察対応

定例区長会・幹事会

8日 秋季奉仕作業

9日 連合自治会

12日 釜戸小学校草取りボランティア

13日 釜戸小学校草取りボランティア

文化祭実行委員会

16日 敬老の日記念品配布

20日 瑞浪市功労者選定審査委員会

21日 瑞浪市総合防災訓練 大しめ縄づくり

23日 面高屋小屋解体壁土の撤去等

24日 秋の交通安全県民運動街頭指導

瀬瀬

28	27	20	19	14	13	6	5	4	2	日	令和六年（2024）十月行事予定
月	日	日	土	月	日	日	土	金	水	曜	
広報委員会	モニタリング調査 苔玉・寄せ植えづくり	足又八幡神社例大祭	大湫太鼓練習 和太鼓「志多ら」講演に向けて	スポーツの日	神田白山権現例大祭	神明・白山神社例大祭	大湫太鼓練習 和太鼓「志多ら」講演に向けて	区長会・幹事会	“ひよも” 高齢者交通安全教室	予 定	
不燃ゴミ：10/3（木）資源ゴミ：10/23（水）											

**編集後記**

秋祭りのお囃子の練習の音が虫の声と一緒に聞こえて来ます。暑い暑いとばかり言っておりましたが、もうお祭りの季節なんですね。

D

### 公民館改修工事進捗状況

- ・現在、事務所と隣の会議応接室の改修は完了
- ・図書室の天井照明工事完了
- ・調理室シンク増設中 10月第2週完成予定
- ・1F・2F トイレ工事進行中（多目的トイレを併設）10月第3週完了予定
- ・屋根瓦撤去新設、外壁塗装改修第2週完了予定
- ・最終的に空調設備を整えて終了予定  
文化祭までには完了する予定です

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会  
 2024（令和6）年10月1日 瑞浪市大湫町 422-1 ☎0572-63-2360  
<http://okute-shuku.jp>

表紙写真  
公民館職員